



芝生の校庭になあれ♪

休み時間を利用して全校児童で、蒔き芝を行いました。

安全で快適な夏に向けて

夏期対策の概要をお知らせします

7月16日(土)から、松崎、岩地、石部、雲見地区の各海水浴場に監視員が配置され、本格的な海水浴シーズンを迎えます。

松崎町は、この夏の期間、1年のうちで最も観光客が訪れ、地域の人口が急増します。町では、観光客はもとより、

町民の皆様が安心して過ごせるように、警察や海上保安部などの関係機関と連携を密にし、夏期間中の安全で快適な環境づくりに努めます。

また、水難事故が発生した際に迅速な対応が出来るよう、監視員にはライフセーバーを配置するとともに、AED(除細動器)を各海水浴場に設置します。

水質検査結果

賀茂健康福祉センターによる海水浴場の水質検査の結果は、次表のとおり判定され、安心して海水浴が楽しめます。

<参考>
海水浴場の水質の判定基準

区分	ふん便性大腸菌数	油膜の有無	COD(%)	透明度
適	水質AA (不検出 検出限界2個/100ml)	油膜が認められない	2mg/L以下	全透(水深1m以上)
	水質A	油膜が認められない	2mg/L以下	全透(水深1m以上)
可	水質B	常時は油膜が認められない	5mg/L以下	水深1m未満~50cm以上
	水質C	常時は油膜が認められない	8mg/L以下	水深1m未満~50cm以上
不適	1,000個/100mlを超えるもの	常時油膜が認められる	8mg/L超	50cm未満

(※)CODとは、水の中に含まれている汚れ(おもに有機物の汚れ)を、数値化したものです。

海水浴場の水質検査について
(4月26日採水)

海水浴場名	判定
雲見	適合(水質A)
石部	適合(水質A)
岩地	適合(水質AA)
松崎	適合(水質A)

水上オートバイ対策

松崎海岸では、近年、水上オートバイの増加とともに、利用者のマナーの悪化が目立ち、海水浴客や漁業関係者とのトラブルが多く発生しています。

町では、夏の海水浴場開設期間中、チラシの配布や監視員による口頭指導により、湾内の徐行と漁業区域やダイビング区域内への進入を禁止してきましたが、守られない状況が続いていました。

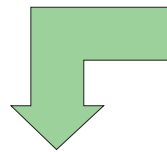
このような状況下では、海水浴客やダイバーとの事故発生の危険性が大変高く、良好な海水浴場管理に支障を来す恐れがあるため、昨年から水上オートバイ対策について、関係機関で協議を行ってきました。



松崎港入口に設置した看板



昨年までの松崎海岸海水浴場区域



今年からの松崎海岸海水浴場区域

その結果、松崎海岸での水上オートバイの利用をご遠慮いただくことが最善の策として、松崎港入口や松崎海岸に看板を設置しました。

また、今夏から松崎海岸に水上オートバイ用の出入航路を設けず、右図のとおり海水浴場の区域を拡大したため、浜からの水上オートバイの出入航ができなくなりました。町が松崎海岸を借り受け、

海水浴場として夏の期間は、町条例により、区域内の水上オートバイやエンジン付きの船舶の航行は禁止となり、違反者には罰金が科せられます。

しかしながら、水上オートバイの利用は夏期だけではないため、通年の禁止へ向け、今後、管理者である県へ要望していきます。

食中毒防止対策

年間観光客数の3割以上が夏のシーズンに集中しています。

このため、賀茂健康福祉センターでは、街頭パレードやポスターの掲出、チラシの配布による広報活動、食品営業施設の監視指導、食品営業業者に対する講習会を開催し、食中毒防止に努めます。

宿泊施設や飲食店では、衛生管理に留意し、食中毒の防止に努めましょう。

消防防災対策

地震・津波対策

松崎町消防団では、津波に関する広報があった場合や大きな地震が発生した場合は、ライフセーバー、観光協会、自主防災組織と協力し、海水浴客の避難誘導を行います。

また、東海地震予知情報が警戒宣言に伴って発表された場合は、海面監視を行うとともに、水門を閉鎖します。

水難事故防止対策

消防団員に普通救命講習を受講させ、水難事故が発生した場合には、速やかに応急処

置ができる体制を整備します。

ごみ対策

7月25日(月)～8月21日(日)を夏期対策期間として、次のとおり日程を変更してごみ収集を行います。

7月25日(月)～8月21日(日)の可燃ごみ収集日程

収集地区	収集日(曜日)
東区、西区、南区、中区、宮内、伏倉、道部、岩科地区	月・水・金
北区、江奈、桜田、中川地区	火・木・土
岩地、石部、雲見地区	月～土

分別ごみの収集日程

	東・西・南・北・中地区 (松崎5区)		岩科地区・三浦地区 (注)		江奈地区		中川地区		桜田・伏倉 宮内・道部地区	
	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目	1回目	2回目
7月	4日	18日	5日	19日	6日	20日	7日	21日	8日	22日
8月	1日	15日	2日	16日	3日	17日	4日	18日	5日	19日

※毎月1回目の収集日には粗大ごみを、2回目の収集日には植物性廃食油の回収を行っています。

(注) 三浦地区は7月26日、8月9日に分別特別収集を行います。収集品目はカン・ビン・ペットボトルのみです。

クリーンピア松崎への持込み

【月曜日～金曜日】

午前8時30分～午後4時30分

【土・日曜日】

午前8時30分～午前11時30分

交通安全対策

夏の交通安全県民運動

この運動は、県民一人ひとりが、自らの交通安全に関する意識を高め、交通ルールの順守と交通マナーの実践に努めることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的に毎年開催しています。

【実施期間】

7月11日(月)～20日(水)

【スローガン】

安全を つなげて広げて 事故ゼロへ

【運動の重点】

○子どもと高齢者の交通事故防止

○自転車の安全利用の推進

○飲酒運転の根絶

【運動の内容】

○街頭指導

○巡回広報

○街頭キャンペーン

○交通診断

○町内放送

○のぼり旗の掲出

不法投棄防止対策

夏期シーズンは廃棄物不法投棄が多発します。その対策として、例年不法投棄取締りパトロールを実施しています。期間は7月、8月の2カ月間で、不法投棄多発場所を中心に毎週実施します。

不法投棄を発見した場合は、廃棄場所、廃棄物の種類によって土地所有者、関係機関へ連絡を行います。また、悪質な場合については、警察に通報するなどの措置を講じます。

青少年の健全育成

7月は、青少年非行・被害防止強調月間です。家庭・学校・地域社会で連携し、青少年健全育成および非行防止に努めましょう。

また、松崎町では「あいさつ・返事・後しまつ」を合言葉に、3つの実践運動を展開しています。

大人から積極的に実践し、子どもと関わることで青少年健全育成につながりますので、ご協力をお願いします。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

平成22年度 事業会計決算の概要

水道事業会計

平成22年度に給水した総水量は、約101万1,000立方メートルで、一般や営業などの使用量が減少し、前年と比べ7,000立方メートルの減となりました。

収益的収支では、収益が、使用量の減少により、1億5,515万円（前年比98万円の減）となりました。一方費用は、退職により職員が1人減となったことや、企業債利息の減少などにより、1億2,732万円（前年比545万円の減）となりました。

この結果、2,783万円の利益を計上することができました。資本的支出の工事については、2カ年工事の江奈ポンプ場築造工事や大沢新水源井戸改修工事、県道の拡幅工事に

伴う、峰と小杉原の水道本管移設工事を行いました。委託業務については、峰輪と岩地の配水池耐震診断などを行いました。

水道施設は、昭和30年から40年代に整備された施設が多く、老朽化による改修が必要となつていきます。このため、平成23年度は、今後の整備内容や財政計画などを盛り込んだ基本計画を作成します。

また、これまで以上に経費の節減に努め、水道事業会計の健全運営と安全で清浄な水の安定供給を図つてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

【問合せ】
生活環境課（42） 3969

温泉事業会計

現在の契約給湯戸数は、自家用320戸と営業用36戸で、平成22年度は、17万3,000

立方メートルを給湯しました。収益は、営業用から自家用への変更が4口と、新たな休止が営業用と自家用で各2口あったことで供給収益は減少となり、また現金の運用も利率の落ち込みなどから減少し、事業収益は6,434万円（前年比144万円の減）となりました。

一方費用は、人事異動に伴う人件費の減少などにより5,683万円（前年比162万円の減）となり、純利益は751万円となりました。

今のところ施設は順調に稼働していますが、今後設備の老朽化に伴う改良工事も見込まれることや、供給収益の更なる減少が推測されることから、施設の管理運営に万全を期すとともに、加入の促進と経営の合理化に心がけ、事業を推進してまいります。

【問合せ】
生活環境課（42） 3969

町営宿泊施設 伊豆まつぎ荘事業会計

長引く景気の低迷で赤字決算となつた前年度をふまえ、

企画商品の検討、料理の見直しなどに取り組むとともに、費用においても職員賞与の大幅なカットやメンテナンス等経費の削減に努めてまいりました。

しかしながら、円高、石油価格の上昇、デフレ感による景気の停滞や高速道路の土日割引による旅行形態の変化などもあり、宿泊利用者は減少傾向となりました。

さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後はキャンセルが相次ぎ、3月の宿泊者数は前年に比べ1,294人少ない723人（35.8%）となりました。

平成23年度は、電力不足による計画停電など不安要素もあります。職員欠員不補充による人件費抑制、料理メニューの改正や材料の見直しなどにより経費の削減を図るとともに、利用者のニーズに合ったサービス、プランの提供に取り組み、利用者増進、業績の回復に向けて努力してまいります。

【問合せ】
企画観光課（42） 3964

会計別決算状況

項目	決算額		差引 (純損益)	前年対比 (%)	
	収入	支出		収入	支出
水道事業会計	1億5,515万円	1億2,732万円	2,783万円	99.4	95.9
温泉事業会計	6,434万円	5,683万円	751万円	97.8	97.2
町営宿泊施設事業会計	2億5,653万円	3億352万円	△4,699万円	84.6	93.7

子ども農山漁村交流

プロジェクト

「子ども農山漁村交流プロジェクト」は、農林水産省、文部科学省、総務省が連携し、学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、力強い子どもの成長を支える教育活動です。全国2万3,000校の小学校では、農山漁村での宿泊体験活動を推進しています。

松崎町では、平成12年度から岩地地区において「冒険修学旅行」として、カヤック、



ラフボート体験

ラフボート、シュノーケリング、釣り、地引網、干物作り、トコロン作りなどの海の体験を通して、中学生の修学旅行を受け入れてきました。

学校も愛知県を中心に神奈川県、静岡県内など、平成14年度には年間1,700人余が訪れています。

今回、静岡県で静岡市、下田市、西伊豆町とともに、松崎町（松崎町グリーンツーリズム推進協議会）が、農林水産省の子ども農山漁村交流プロジェクトの選定を受けたことから、平成23年・24年度の2カ年にわたり事業が実施されます。

平成23年度は、パンフレットの作成や受入地区の防災、安全対策の研修を通して、小学校の誘致活動につなげていきます。加えて、体験メニューの掘り起こしや指導者育成などを実施していきます。



地引網体験

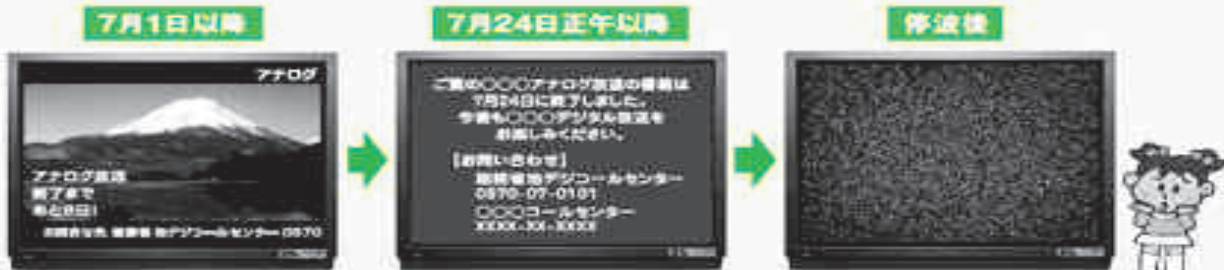
また、平成24年度は、県内外の学校やエージェントへの誘致活動、教職員や体験旅行関係者に対するモニターツアーを開催し、町の魅力を積極的に発信していきます。

町では、子ども農山漁村交流プロジェクトを推進するとともに、全町を「ふるさと自然体験学校」として、農山漁村の持つ豊かな自然環境、景観、文化、産業などの地域資源を最大限に活用しながら都市との交流を図り、地域活性化につなげていきたいと考えております。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

【問合せ】
企画観光課（42）3964

アナログテレビ放送は、7月24日に終了します!!

【アナログテレビ放送終了までの画面イメージ】（実際の放送画面については別途掲載されます。）



7月1日以降
通常番組の画面上に終了日までのカウントダウン等を表示します。定期的に、全画面スーパーやブルーバック等の「お知らせ画面」が短時間挿入されます。

7月24日正午以降
7月24日正午からブルーバックのお知らせ画面を表示します。24時までに停波します。

停波後
7月24日24時までに停波し、この後は、映りません。



VHSビデオデッキ、パソコン、カーナビ、ラジオ等でアナログテレビ放送を受信している場合も、7月24日以降は視聴できなくなります。

《《《《 地デジ受信の準備をお急ぎください! 》》》》

【問合せ】 デジサポ静岡0570(07)0101

松崎町子ども会球技大会



ドッチボール大会

6月5日(日)、勤労者体育センターにて、子ども会世話人連絡協議会主催の球技大会(ドッチボール)が開催されました。

町内の小学生71人(4チーム)が参加し、全チーム総当り対戦しました。

選手は父兄の声援を受け、日頃の練習の成果を十分に発揮し、白熱した試合を繰り広げました。

優勝、準優勝の2チームは松崎町代表として、7月3日(日)に東伊豆町立体育センターで開催される賀茂郡大会へ出場します。

優勝

YAMABIKO (中川)

準優勝

ファイヤータイガース(三浦)

3位

岩科イーグルファイヤー(岩科)

HAYABUSA (中川)

【問合せ】

教育委員会 (42) 3971



準優勝 ファイヤータイガース (三浦)



優勝 YAMABIKO (中川)

姉妹都市北海道帯広市から

初夏の贈り物

松崎町と姉妹都市の帯広市とは、交流を深めるために、町の特産品をお互いに贈り合っています。

このたび、帯広市から初夏の贈り物が届きましたので、ご紹介します。

アスパラガス

6月8日(水)に、帯広市南部の広野地区で収穫されたアスパラガスが届きました。

届けられたアスパラガスは学校給食として、幼稚園、小中学校で味わいました。

スズラン

6月13日(月)に、帯広市親善交流課の皆様が摘み取り、花束にしていたいただいたスズラン約6,000本が届きました。

届けられたスズランは、町内の学校や観光施設などに配られました。



聖和保育園に届けられたスズランの香りを楽しむ園児

イベント・催し紹介

雲見温泉無料サザエ祭り

【日時】7月17日(日)

午前9時から

【場所】雲見海岸

【内容】漁船の上から波打ち際にまかれた300kg、約5,000個のサザエを子どもの部、大人の部に分かれ、無料でとることができます。



【問合せ】

雲見観光協会 (45)0844

松崎文芸

俳句

青葉山かつて登りし人のこと
夏めくや何をするにも腕まくり
青葉影ちらちら洩る陽の光
すっぽりと青葉に埋る峽の里
青葉影釣りする人のトンボ笠
白雲のゆったり流る山青葉
天仰ぐ地震の田早くと青田にと
よく笑ふ嬰の瞳や山桜桃
ぽちちりと紅きざす実梅かな
手を延べて呼樋の山清水かな
苔の花宿して撫の古木かな
ガラス戸の薄羽蜻蛉よるめけり
椎の花灰香る夜の胸騒ぎ
天と地を車輪の響き青葉風
伐られたる枝より青葉生まれけり
青葉山電波塔二基競い立つ

小林忠男
稲葉文字
小林一男
佐藤享
稲葉菊恵
依田ふじ枝
土屋規矩子
吉岡うた子
夏目和子
細矢金治
齊藤みつ子
鈴木すみ江
山本一詞
石田宏
清水高子
松田美智子

～まちのできごと～

6/5 第13回伊豆・松崎町シーカヤックマラソン



全国から213艇、227人が参加し、シーカヤックマラソンが開催されました。波が高く風も強い、あいにくの天候の中、選手は、力強くパドルを操り、ゴールを目指しました。

6/11 第1回オーシャンスイムレース



岩地海岸では、首都圏などから約120人が参加し、大規模な遠泳大会が開催されました。あいにくの天候の中、参加者は日ごろ鍛えた泳力を発揮し、タイムを競いました。

6/8 生涯学習ソフトボール春季大会 江奈3チームが優勝



総合グラウンドでは、町内各地区から12チームが参加し、生涯学習ソフトボール春季大会が開催されました。トーナメント形式で熱戦を繰り広げた結果、江奈3チームが優勝しました。

6/15 スポーツ選手活用体力向上事業体操教室



松崎小学校体育館では、児童の体力向上を目的に、アトランタオリンピック出場選手の内山隆さんを講師に招き、体操競技の講話と実技指導が行われました。

安心して暮らせる町を目指して

今年、例年より早く梅雨入りし、あと半月もしますと本格的な夏の海水浴シーズンを迎えます。

夏を間近に控え、海水浴に関する問合せが日を追うごとに増えてきています。お問合せの中には、津波被害を心配され、避難場所や緊急時の対応についてのお電話をいただくことがあります。

町としても、沿岸部に住む方たちと海を目的に訪れる観光客の皆様が安心して暮らすように最善を尽くした対策をしていきたいと思えます。5月に行われた津波避難訓練では、多くの地区の自主防災組織の方が避難場所を山の中腹に設定しました。

この避難場所を公園など多目的な機能を持たせ、日常から地域の皆様が利用できる施設にできない

町長室からこんにちは ①9

か自主防の皆様と話し合っ ていきたいと考えています。 今回の津波避難訓練では、前もって時間が知らされて いたこともあり、参加者の ほとんどが津波到達予想時 間以内に避難することがで きましたが、夜間に予知な く津波が発生した時には、 今回の避難時間よりも多く の時間がかかるのではない でしょうか。

津波の被害を最小限に 抑えるためには、施設の 整備と日頃からの避難訓 練が重要です。岩手県普 代村は、今回の東日本大 震災による津波から水門 が村民の生命と財産を守 りました。

松崎町も、今後、津波 に対する諸対策について 検討を行ってまいります。 町民の皆様のご理解と ご協力をお願いします。

松崎町長
齋藤文彦

町の人口と世帯

(平成23年 5月31日現在)
()内は前月比

総人口	7,905人	(-16人)
男	3,740人	(-12人)
女	4,165人	(-4人)
世帯数	3,141戸	(-2戸)
転入	9人	転出 18人
出生	6人	死亡 13人

町の交通事故

平成23年 5月発生分
()内は前年同月比

人身事故	3件	(+1)
物損事故	2件	(-9)
死者	0人	(-1)
傷者	3人	(+2)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
江奈3	八木 義一	92	土屋なをみ
建久寺	松本 遙 崑	98	好 文
道 部	池田 信夫	79	繁 樹
吉 田	関 いち	89	寿々江
江奈1	高柳 恒紀	62	禮 子
宮 内	馬場 健	66	宏 子
道 部	高木 節子	82	國 義
吉 田	山本 清矩	70	文 則
北 区	松本 久代	90	美 惠 子
江奈1	平山 善一	76	直 胤

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

戸籍だより (5月届出分)

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
建久寺	悠 加	女	松本進也
江奈2	杏	女	齊藤裕一
江奈1	千 晴	女	稲葉栄一
南 郷	詩 紗	女	光岡雅浩
伏 倉	華 鈴	女	山本尚敬

保健師だより

元気な年を重ねるために

いつまでも元気に過ごすことは、多くの人にとっての願いではないでしょうか。しかし、加齢とともに体力が低下し、病気になることが増えてくると、日常生活にも支障をきたし、何らかの援助が必要になってくる場合があります。

現在、町では400人以上の方が介護保険を利用しています。介護保険が必要になる主な原因としては、脳血管疾患、骨折や関節の病気、認知症の3つで全体の75%を占めています。これらを予防し、元気に年を重ねるために次のことを心がけましょう。

- ①生活習慣病に気をつけましょう。
高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病があると脳血管疾患になりやすいといわれます。食事のバランスに気をつけ、きちんと治療や指導を受けることが大切です。
 - ②体を動かしましょう。
高齢だからといって、運動を始めるのに遅いということはありません。毎日少しずつ、無理のない範囲で体を動かすことを意識しましょう。
 - ③趣味を楽しみ、人と関わりましょう。
頭や手を使うことは脳を刺激します。また、趣味や人とのつきあいを楽しんでいる人は認知症になりにくいと言われています。
- 元気に年を重ねるために、今からできることを始めてみてはいかがでしょうか。

姉妹都市通信

帯広市から

「ホコテン」

6年目を迎えるオビヒロホコテンは「見よう！知ろう！味わおう！発信！とかちの元気!!」をテーマに7月3日から開催します。

ホコテンは、「まちなかに交流と賑わいを」の合言葉からはじまった、市民の手による魅力あるまちづくりの取り組みです。

多くの市民が年齢や立場を超えて集まり、中心市街地を盛り上げます。

まちなかの道路を交通規制して多彩なイベントを開催し、帯広・十勝とまちなかの魅力を発信していきます。YOSAKOIソーランや高校のパレードなど、毎週テーマ別にイベントを行います。

また、十勝の食材を豊富に取り入れた飲食コーナーでは、ここでもしか味わえない特別メニューもあります。

今年7月3日～9月25日



昨年のオープニングパレード

までの毎週日曜日に西2条南8、9丁目と、広小路の交差点を中心に開催します。

ホコテンを「つくる」、「支える」、「楽しむ」人として、多くの人がボランティアとして参加しています。

松崎町の皆様も、日曜日には、オビヒロホコテンを「楽しむ」人として、ぜひ会場にお越しください。